

令和4年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立スポーツセンター、宝塚市立末広体育館				
所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号、宝塚市末広町3番77号				
指定管理者	団体名	(公財)宝塚市スポーツ振興公社	指定期間	開始日	平成31年4月1日
	所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号		終了日	令和6年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間5年のうち3年目	
施設設置目的	市民への体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年の育成及び、住民の健康保持に寄与することを目的とする。				
主な実施事業	①スポーツ及びスポーツレクリエーション等の振興事業 ②宝塚市から受託する社会体育施設の管理運営事業 ③その他この法人の目的を達成するために必要な事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	900	1014	900	946	900	581	900	644
b 利用率	%	65	68	65	71	65	71	65	73
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算
収入計	A	333,918	332,457	259,124	261,470
指定管理料		83,750	92,276	84,530	84,422
利用料収入	C	152,198	143,774	104,314	115,325
自主事業収入		88,431	87,319	51,441	55,968
その他		9,539	9,088	18,839	5,755
支出計	B	340,909	333,626	287,980	287,057
指定事業費		294,065	288,264	256,033	250,957
内、人件費	D	87,793	91,173	85,495	83,317
内、再委託料	E	109,653	110,285	98,754	97,504
自主事業費		46,844	45,362	31,947	36,100
事業収支	A-B	(6,991)	(1,169)	(28,856)	(25,587)
利用率	C/A	45.6 %	43.2 %	40.3 %	44.1 %
人件費率	D/B	25.8 %	27.3 %	29.7 %	29.0 %
再委託費比率	E/B	32.2 %	33.1 %	34.3 %	34.0 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	①新型コロナウイルス感染症の影響により、4月25日から5月11日まで臨時休館した。 ②令和3年度指定管理料のうち、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休館等による損失補填額は3,695,218円。
------	--

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B
	《総括》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	S	S
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	S	S
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A
	利用者アンケート等	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A
	《総括》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	A
《総括》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	令和3年度もコロナ禍の影響で、施設の休館や時短営業などから営業収益の大きな落ち込みとなりました。度重なるコロナ禍での利用制限の中、安心して利用していただけるよう、利用者の安全に配慮した施設の管理運営に注力しました。自主事業では民間企業との共催で野球教室を開催し、また教室受付方法を順次WEBでの申し込みに切り替えてきました。夜間利用枠の拡大についても次年度に向け実績を作ることが出来ました。課題としては、施設の老朽化に伴い、改修工事や突発的な修繕が増えていく中、工期など修繕のタイミングについても市と調整できるように努めます。施設利用者や教室参加者は徐々に回復傾向ではありますが、引き続き収支改善と利用者の更なる満足度の増進に向け尽力してまいります。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	コロナ禍の影響から利用料金収入が平時と比較すると減少しているが、同じコロナ禍である令和2年度と比較すると10.5%増加していることや、自主事業収入についても令和2年度と比較して8.8%増加していることは評価できる。また、光熱水費の削減及び増収のために指定管理者が自主的に実施したメインアリーナのLED化や多目的グラウンドの夜間照明設置について、一定の効果を上げており、評価できる。コロナ禍の影響もあるが、2年連続で赤字が続いていることから、施設利用率の低い施設・時間帯の有効利用を図ることで、収支状況を改善し安定的な運営を行うことを期待する。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	=	協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	=	協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	=	協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	=	協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	=	評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	=	評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	=	自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。